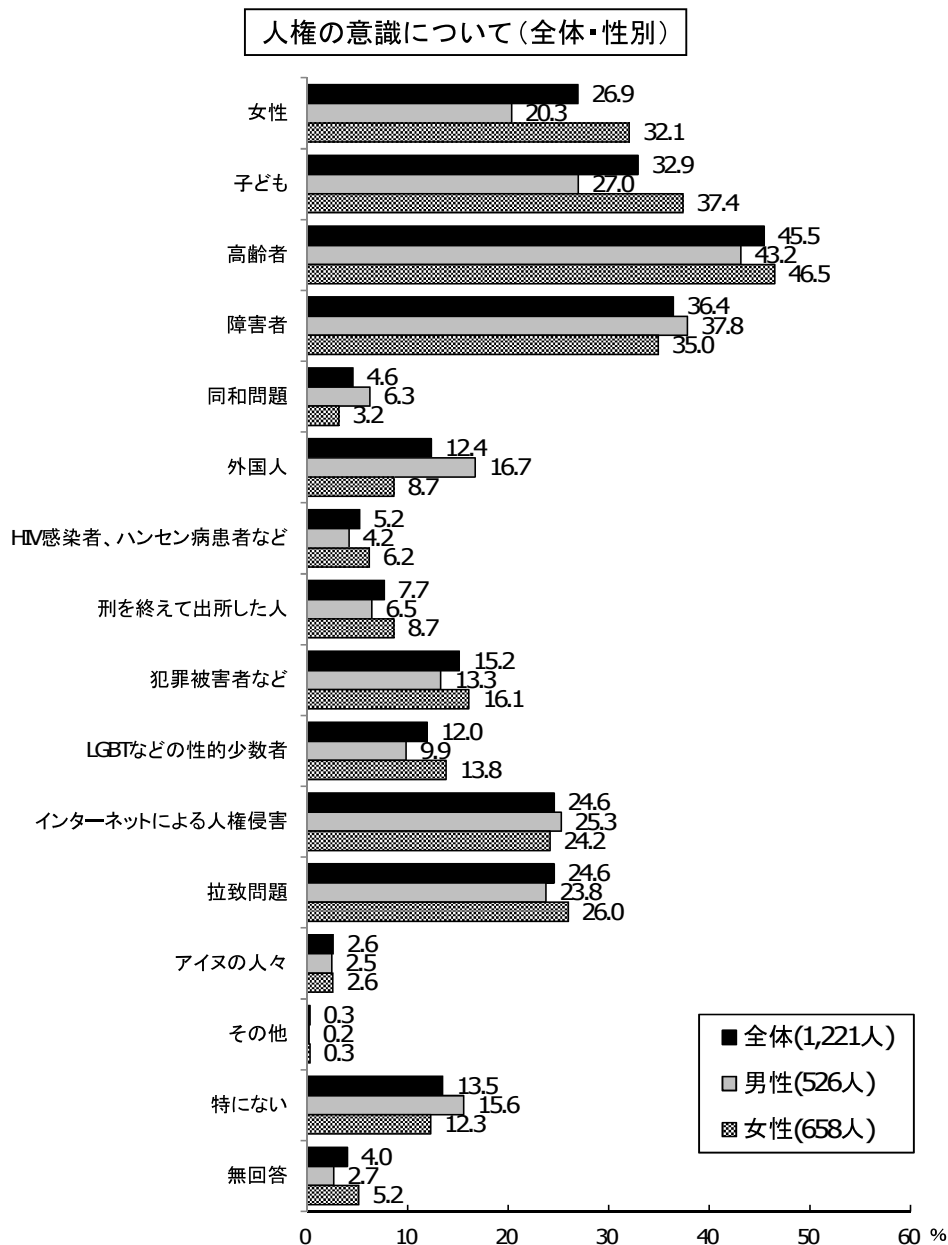


## 6 人権・男女平等について

### 6-1 人権の意識について

◆「高齢者」45.5%、「障害者」36.4%、「子ども」32.9%◆

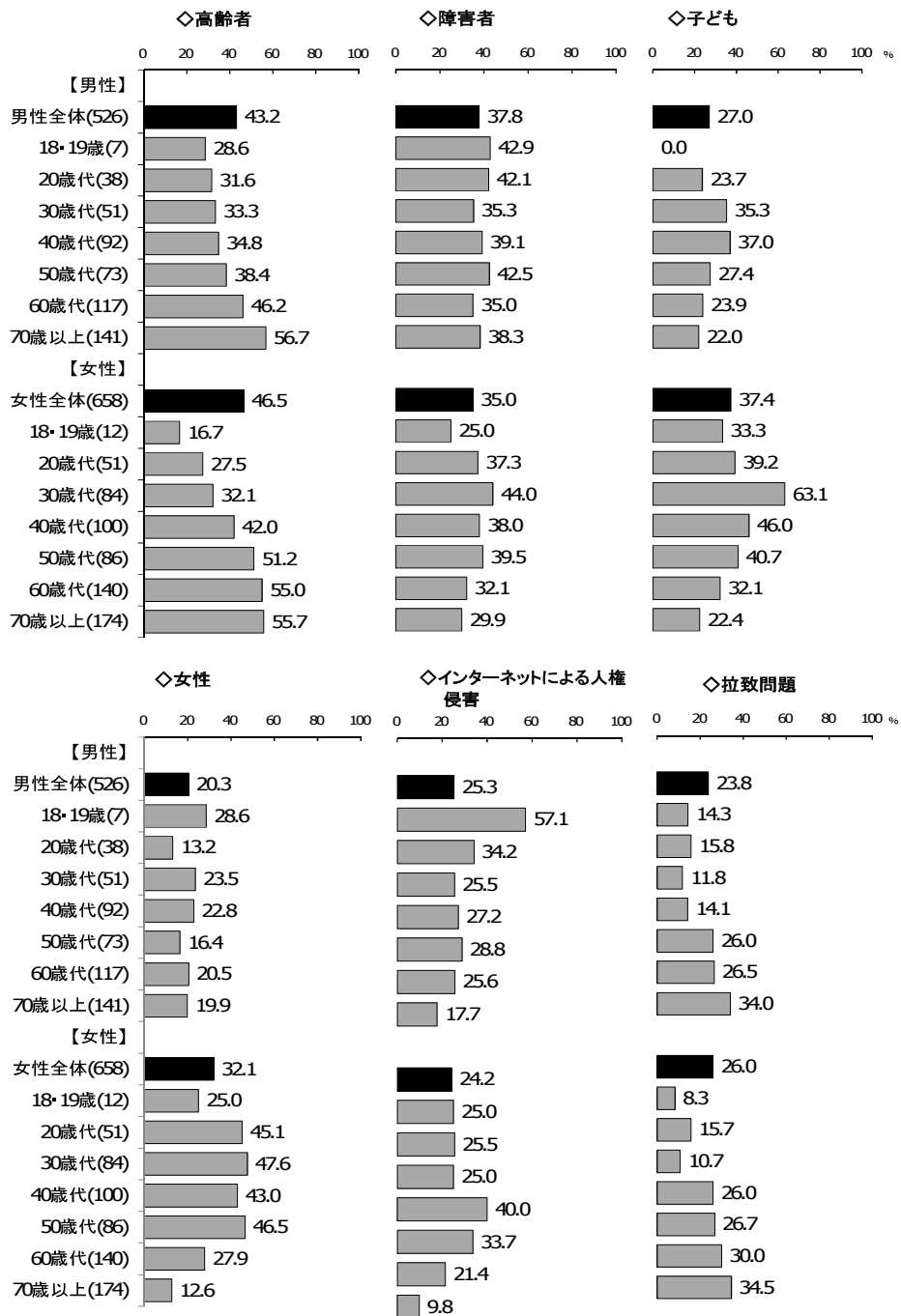
問 23 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



※「LGBTなどの性的少数者」は平成30年度からの選択肢となります。平成28年度までは「性的指向・性同一障害などの性的少数者」でした。

性別でみると「女性(の人権問題)」は女性(32.1%)が男性(20.3%)を11.8ポイント、「子ども」は女性(37.4%)が男性(27.0%)を10.4ポイント上回っています。

## 人権の意識について(上位6項目 性・年代別)



性・年代別でみると「高齢者」は男性・女性とも年齢が高くなるにつれ、関心が高まっています。

「障害者」は男性では全ての年代で35.0%以上となっています。

「子ども」は子育て世代である女性の30歳代で最も高く(63.1%)、次いで40歳代女性(46.0%)が高くなっています。

「女性(の人権問題)」は30歳代女性が47.6%と最も高く、20歳代、40歳代、50歳代でも4割を超えています。

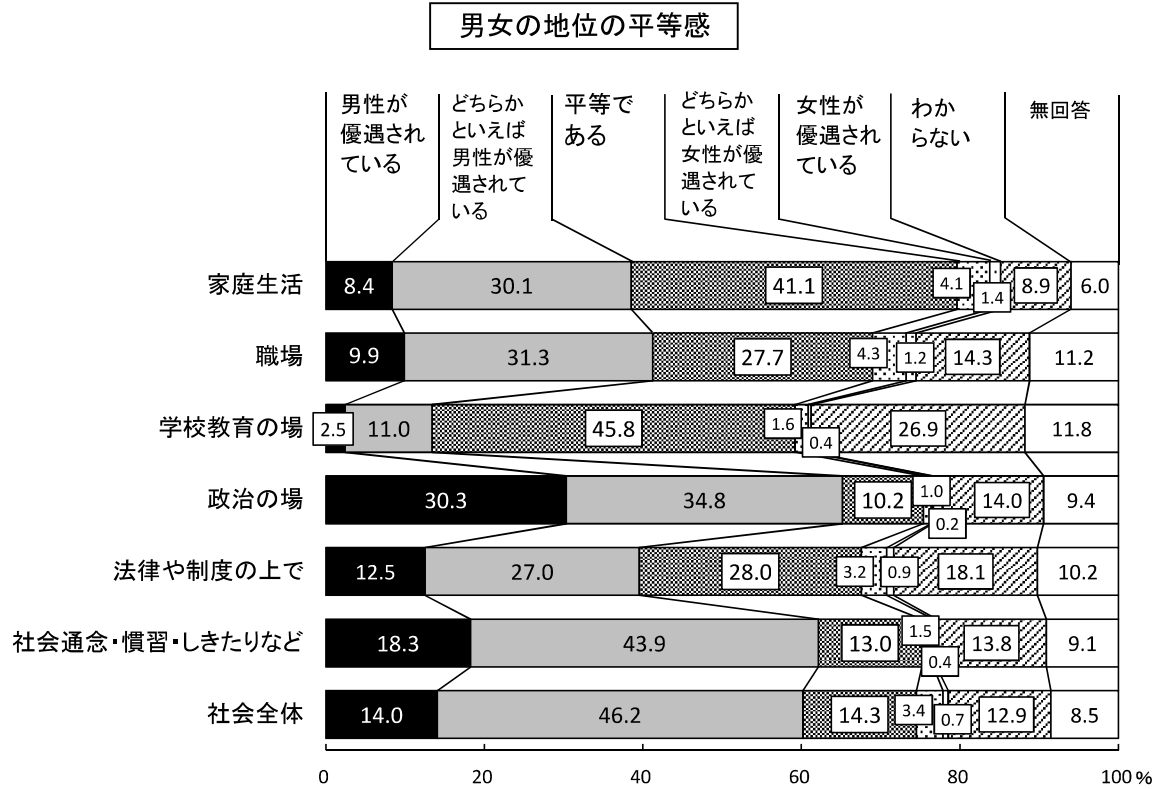
「インターネットによる人権侵害」は男性の18歳・19歳で57.1%、女性の40代で40.0%と最も高くなっています。

拉致問題は男性・女性とも30歳代以降年齢が高くなるほどに高くなっています。

## 6-2 男女の地位の平等感

### ◆〈学校教育の場〉が最も平等◆

問 24 あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



### 〈全体の概観と性・年代別〉

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇と感じている”は〈政治の場〉で 65.1%と高くなっています。次いで〈社会通念・慣習・しきたりなど〉が 62.2%と高くなっています。

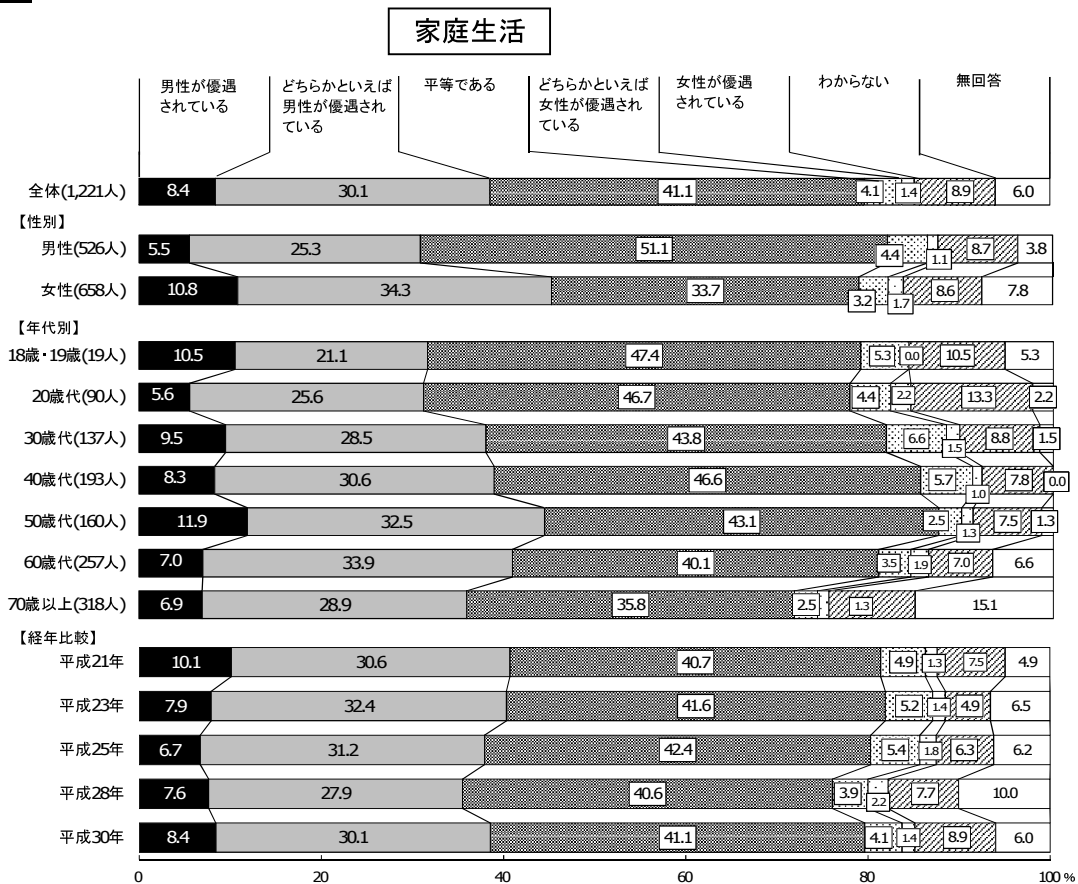
〈学校教育の場〉は「平等である」が 45.8%と“男性優遇と感じている”（13.5%）を大きく上回っており、〈家庭生活〉でも「平等である」（41.1%）が“男性優遇と感じている”（38.5%）を少し上回っています。

性別でみると“男性優遇と感じている”は、全ての項目で女性が男性を上回り、「平等である」でも女性が男性に比べて低くなっています。「平等である」に注目すると〈家庭生活〉〈法律や制度の上で〉では、ともに 17.4 ポイントの差があります。

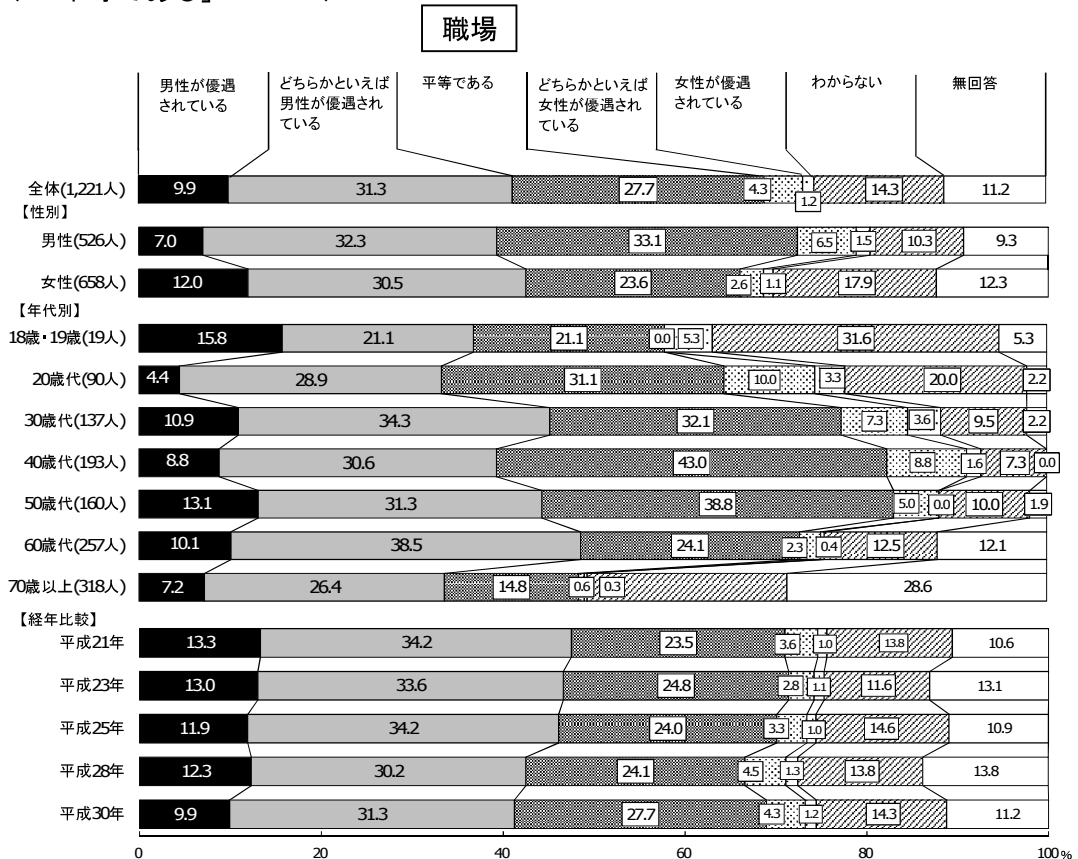
年代別でみると“男性優遇と感じている”は〈家庭生活〉〈法律や制度の上で〉〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉で 50 歳代が最も高く、〈職場〉では 60 歳代、〈学校教育の場〉では 18 歳・19 歳、〈政治の場〉では 30 歳代が最も高い割合を示しています。

平成 28 年度調査と比較すると「平等である」は、〈政治の場〉〈法律や制度の上で〉〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉で減少しています。“男性優遇と感じている”は、〈職場〉で減少しているものの、他の項目では全て増加しています。

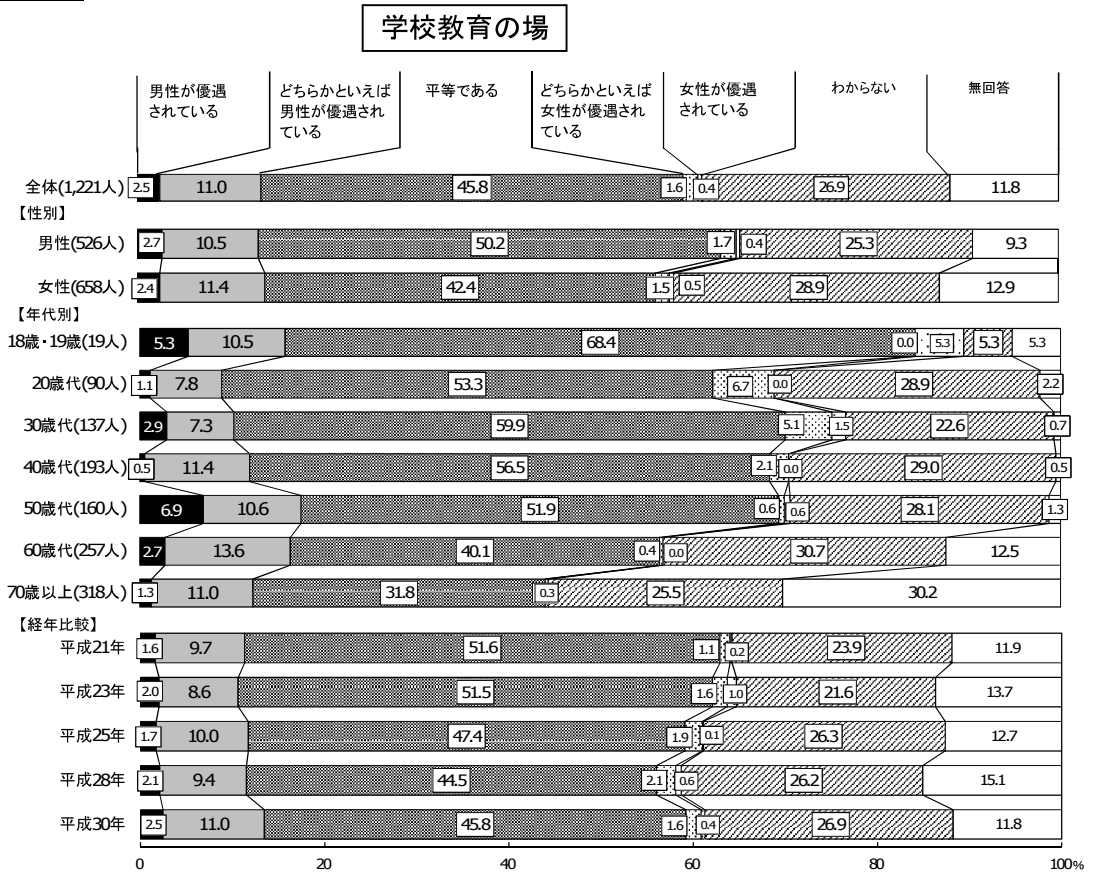
家庭生活 ◆「平等である」41.1%◆



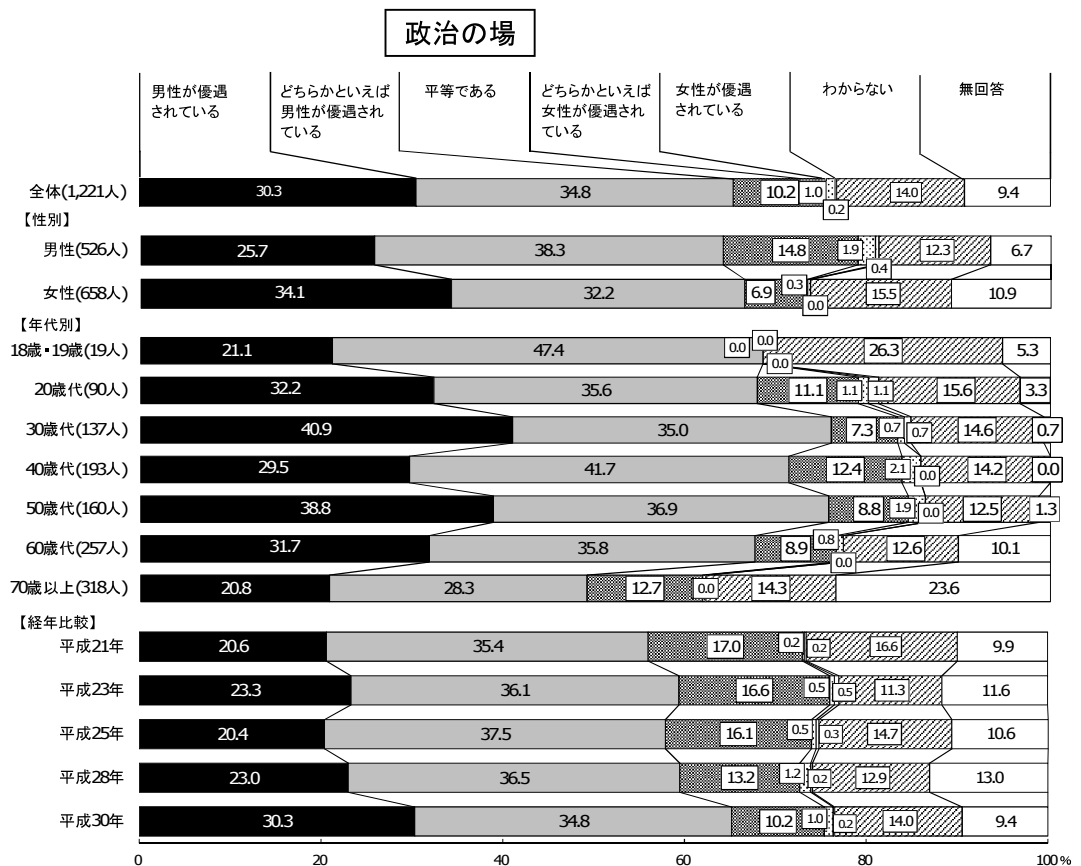
職場 ◆「平等である」27.7%◆



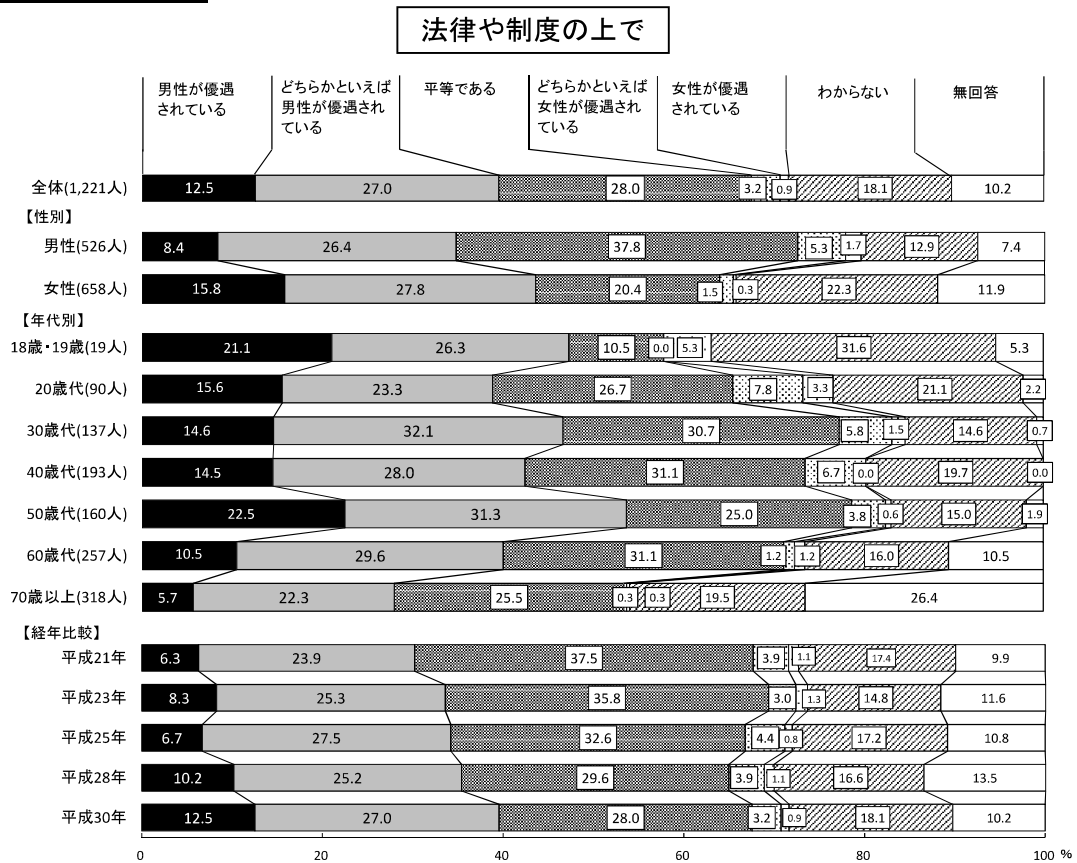
学校教育の場 ◆「平等である」45.8%◆



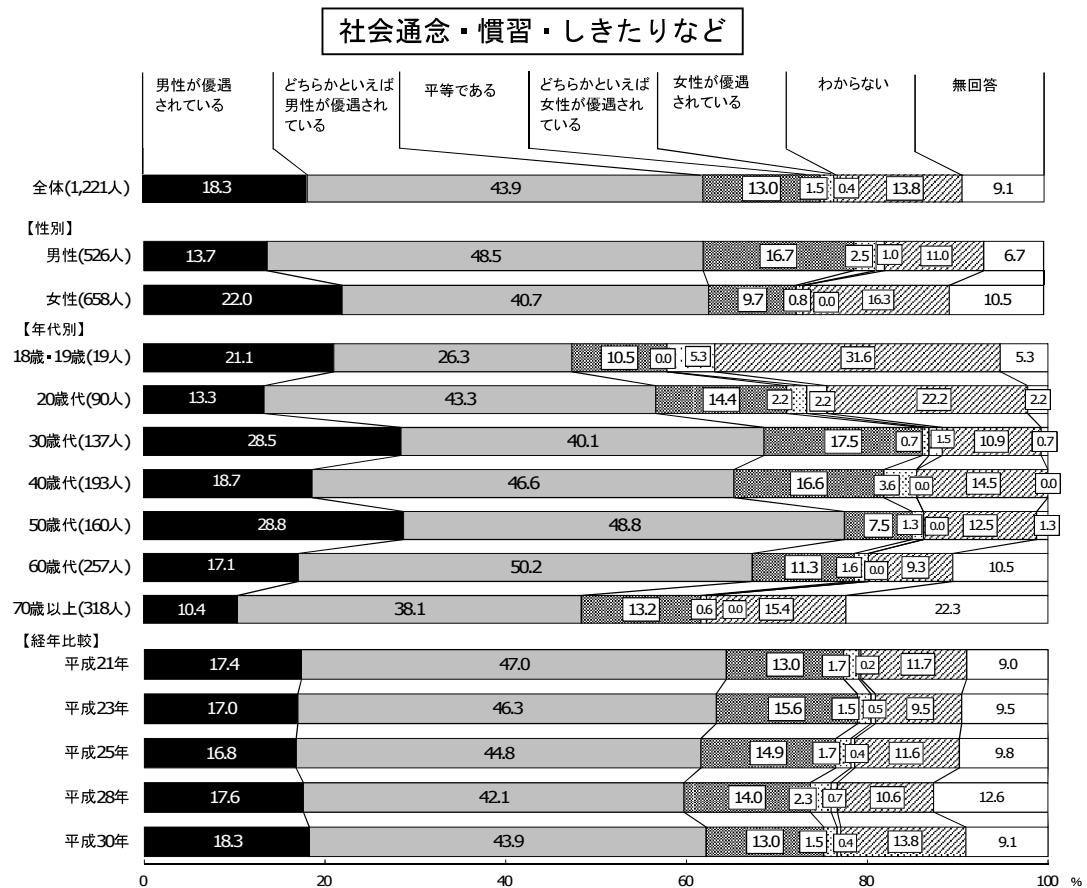
政治の場 ◆「平等である」10.2%◆



法律や制度の上で ◆「平等である」28.0%◆

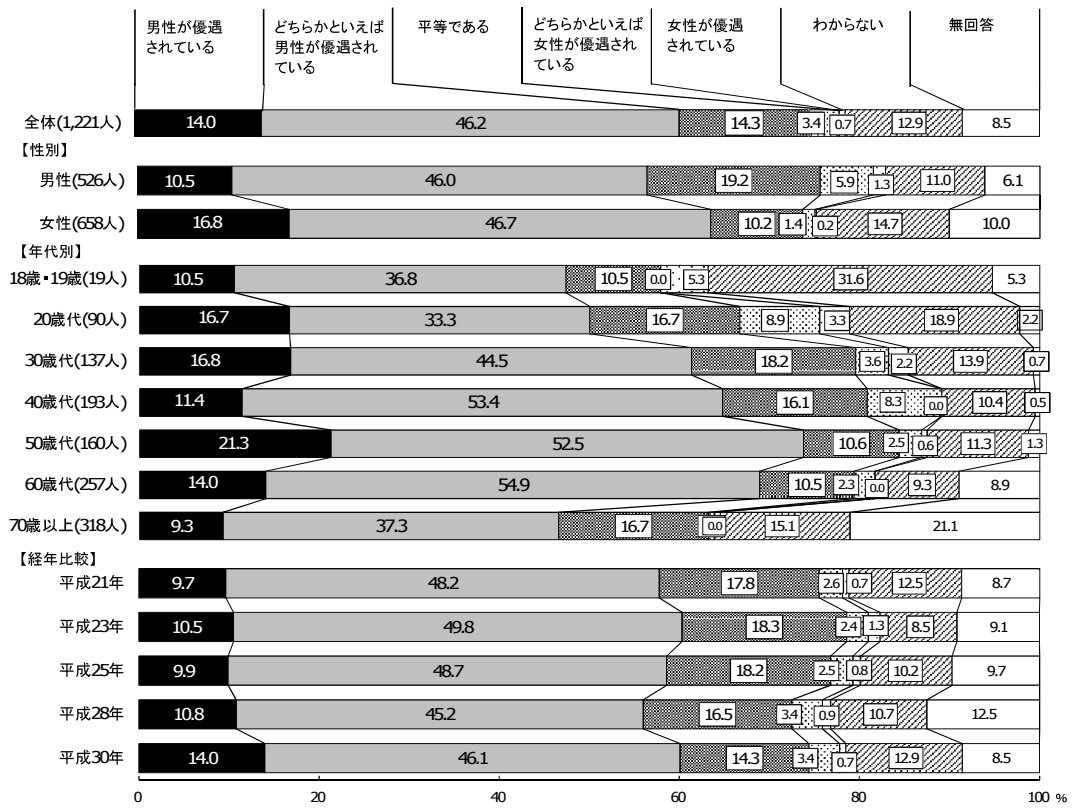


社会通念・慣習・しきたりなど ◆「平等である」13.0%◆



社会全体 ◆「平等である」14.3%◆

社会全体

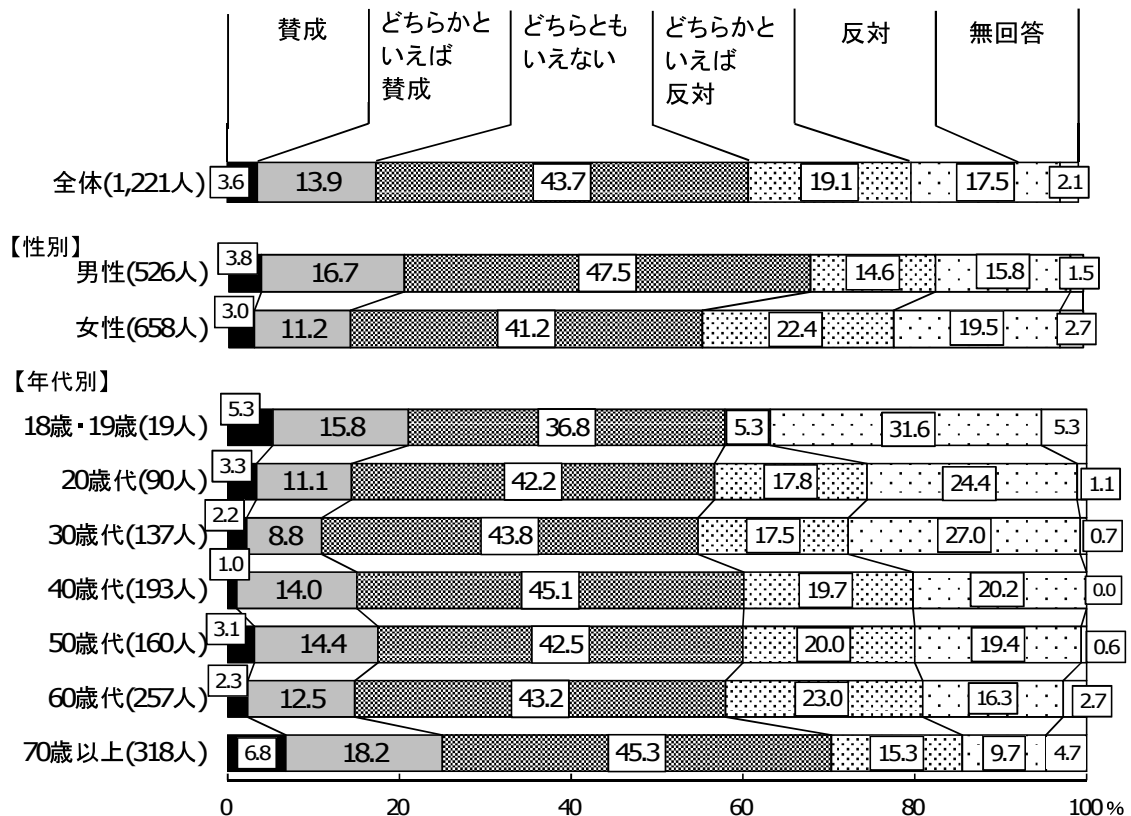


### 6-3 男女役割分担意識

◆ “賛成である” 17.5%、“反対である” 36.6%◆

問 25 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。  
1つ選び、番号を○で囲んでください。

男女役割分担意識



全体では「賛成」が3.6%、「どちらかといえば賛成」が13.9%で“賛成である”は17.5%となっています。一方「反対」が17.5%、「どちらかといえば反対」が19.1%で“反対である”は36.6%となっており、“賛成である”(17.5%)を19.1ポイント上回っています。

性別でみると、男性・女性ともに“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、男性ではその差が9.9ポイントであるのに対して、女性ではその差が27.7ポイントと開きがあります。

年代別でみると、60歳代までは“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、70歳以上では“賛成である”と同率になっています。